

友 愛

題字：鳩山威一郎

機関紙「友愛」

発行所

(財)日本友愛青年協会
〒112-0002
東京都文京区小石川
1-10-13 小石川文化ビル2階

TEL: 03-5684-3188

FAX: 03-5684-3186

E-mail: yuai@qj8-so-net.ne.jp

http://www.yuaiyouth.or.jp

発行人：川手正一郎

編集人：鶴巻 克雄

隔月1回 10日発行

購読料

年額 3,000円

ロシアから

鳩山一郎先生の銅像寄贈

鳩山会館に建立 除幕式挙行

二月二十八日(水)午後十二時三十分より鳩山会館にて、ロシア21世紀委員会より寄贈された鳩山一郎元総理の銅像の除幕式が行われた。銅像は、日ソ共同宣言・日ソ国交回復に尽力をした故鳩山一郎元総理を称え、国交回復五十周年を記念して寄贈されたものである。ロシア側からは、フラトコフ首相、ペーリイ特命全權大使、オルジョニキーゼ モスクワ副市長(ロシア21世紀委員会代表)、銅像製作者、ズラブ・ツエレリ、ロシア美術アカデミー総裁が参列した。日本側からは鳩山安子名誉会長、鳩山由紀夫理事長(日口協会会長)、鳩山邦夫副理事長、井上和子副理事長、が出席、来賓として、安部首相、麻生外相、中曽根元首相、海部元首相、渡部元衆議院副議長他多数の方々、関係各位が参列し、銅像除幕式とそれに続くレセプションが挙行された。

除幕式

二月二十八日(水)午後十二時三十分より鳩山会館にて、ロシア21世紀委員会より寄贈された鳩山一郎元総理の銅像の除幕式が行われた。銅像は、日ソ共同宣言・日ソ国交回復に尽力をした故鳩山一郎元総理を称え、国交回復五十周年を記念して寄贈されたものである。ロシア側からは、フラトコフ首相、ペーリイ特命全權大使、オルジョニキーゼ モスクワ副市長(ロシア21世紀委員会代表)、銅像製作者、ズラブ・ツエレリ、ロシア美術アカデミー総裁が参列した。日本側からは鳩山安子名誉会長、鳩山由紀夫理事長(日口協会会長)、鳩山邦夫副理事長、井上和子副理事長、が出席、来賓として、安部首相、麻生外相、中曽根元首相、海部元首相、渡部元衆議院副議長他多数の方々、関係各位が参列し、銅像除幕式とそれに続くレセプションが挙行された。

由紀夫理事長、鳩山邦夫副理事長、井上和子副理事長、左側にフラトコフ首相、オルジョニキーゼ副市長、銅像製作者ズラブ・ツエレリ、ロシア美術アカデミー総裁が参列した。日本側からは鳩山安子名誉会長、鳩山由紀夫理事長(日口協会会長)、鳩山邦夫副理事長、井上和子副理事長、が出席、来賓として、安部首相、麻生外相、中曽根元首相、海部元首相、渡部元衆議院副議長他多数の方々、関係各位が参列し、銅像除幕式とそれに続くレセプションが挙行された。

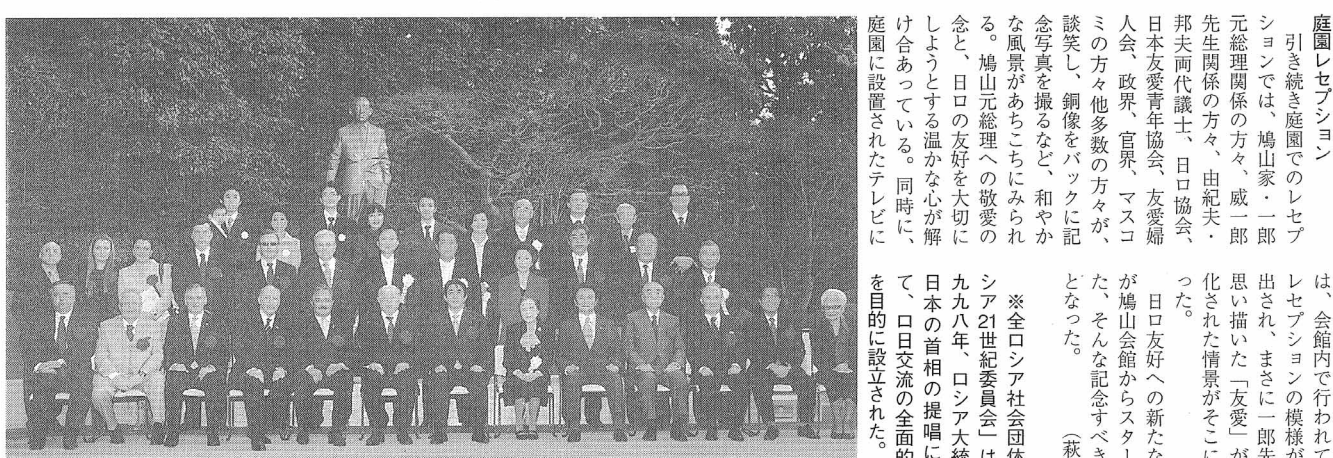
由紀夫理事長、鳩山邦夫副理事長、井上和子副理事長、左側にフラトコフ首相、オルジョニキーゼ副市長、銅像製作者ズラブ・ツエレリ、ロシア美術アカデミー総裁が参列した。日本側からは鳩山安子名誉会長、鳩山由紀夫理事長(日口協会会長)、鳩山邦夫副理事長、井上和子副理事長、が出席、来賓として、安部首相、麻生外相、中曽根元首相、海部元首相、渡部元衆議院副議長他多数の方々、関係各位が参列し、銅像除幕式とそれに続くレセプションが挙行された。

由紀夫理事長、鳩山邦夫副理事長、井上和子副理事長、左側にフラトコフ首相、オルジョニキーゼ副市長、銅像製作者ズラブ・ツエレリ、ロシア美術アカデミー総裁が参列した。日本側からは鳩山安子名誉会長、鳩山由紀夫理事長(日口協会会長)、鳩山邦夫副理事長、井上和子副理事長、が出席、来賓として、安部首相、麻生外相、中曽根元首相、海部元首相、渡部元衆議院副議長他多数の方々、関係各位が参列し、銅像除幕式とそれに続くレセプションが挙行された。



方々による記念撮影が行われ、式典は終了した。レセプション開催
鳩山会館と庭園の二箇所
でレセプションが同時開催された。

会館内のレセプションは、先ず由紀夫・邦夫両代議士の感謝の言葉と、日口友好関係再構築に対する熱意のこもった挨拶から始まった。次に中曽根元首相から、鳩山一郎元総理の人間性からその政治的決断について、さらには北方領土返還に関する今日的な問題点の指摘とその理念などについての、深く示唆に富む挨拶があった。また、麻生外務大臣からは政府を代表しての挨拶、オルジョニキーゼ副市長からはロシア21世紀委員会を代表しての挨拶があった。



ロシアの芸術家、ズラブ・ツエレリ、ロシア美術アカデミー総裁が、力を尽くして製作した「鳩山一郎像」を中心に、除幕式に参列した関係各位が記念撮影。国境を越えた「友愛」がこの日をもたらした

は、会館内で行われている引き続き庭園でのレセプションでは、鳩山家・一郎元総理関係の方々、威一郎先生関係の方々、由紀夫・邦夫両代議士、日口協会、日本友愛青年協会、友愛婦人会、政界、官界、マスコミの方々他多数の方々、が談笑し、銅像をバックに記念写真を撮るなど、和やかな風景があちこちにみられた。鳩山元総理への敬愛の念と、日口の友好を大切にしようとする温かな心が解け合っている。同時に、庭園に設置されたテレビに、

※全ロシア社会団体「ロシア21世紀委員会」は、一九九八年、ロシア大統領と日本の首相の提唱によって、日口交流の全面的強化を目的に設立された。

(萩原記)

日口友好への新たな一歩が鳩山会館からスタートした、そんな記念すべき一日となった。

「家庭」とは？「家」とは？などの疑問が、子に湧いて来る。親が子を、子が親を殺す、というのもシロキナグダだが、兄が弟、弟が姉や妹。またその逆、といった風におこっているからである。▼これらの事件は、新聞などで具体的に報道されているから、それぞれ、「あの事件」のことかと思ひ出されるだろう。とすれば、これらの「事件」の背後、社会の営みには、おびただしい数の「ごたごた」や「もめごと」があった、そのうちのごく一部が、殺傷事件となって派手に知らされているのだ。▼この国は「平和だ」とか皆の心は「おだやか」だと考えているとすると、実は既にいともなにもないことになっている。▼その原因の中には、いわゆる「自由のはき違ひ」というのがあるように思える。これを問題解明的に論ずると、大変なことになって、戦後思想史を復習するという結果になる。▼簡単に言えば、真の「自由」とは「友愛革命」によって全人類を兄弟姉妹とみるようになることである。(鳩山一郎訳 クーデンホッフ・カレルギー著「自由と人生」)(ふ)

友愛時評

▼昨年末から今年のはじめにかけて血生臭い事件が、新聞、テレビ、ラジオなどで毎日のように報じられ、社会の組み立てが「壊れつつある」ような「恐ろしさ」を感じさせる。▼とくに肉親間の殺傷行為が「つづくと「家族のつながり」「家庭」とは？「家」とは？などの疑問が、子に湧いて来る。親が子を、子が親を殺す、というのもシロキナグダだが、兄が弟、弟が姉や妹。またその逆、といった風におこっているからである。▼これらの事件は、新聞などで具体的に報道されているから、それぞれ、「あの事件」のことかと思ひ出されるだろう。とすれば、これらの「事件」の背後、社会の営みには、おびただしい数の「ごたごた」や「もめごと」があった、そのうちのごく一部が、殺傷事件となって派手に知らされているのだ。▼この国は「平和だ」とか皆の心は「おだやか」だと考えているとすると、実は既にいともなにもないことになっている。▼その原因の中には、いわゆる「自由のはき違ひ」というのがあるように思える。これを問題解明的に論ずると、大変なことになって、戦後思想史を復習するという結果になる。▼簡単に言えば、真の「自由」とは「友愛革命」によって全人類を兄弟姉妹とみるようになることである。(鳩山一郎訳 クーデンホッフ・カレルギー著「自由と人生」)(ふ)

日中緑化交流基金

第十回友愛植林訪中活動報告

日中友好の架け橋は、緑の木々
地球温暖化防止にも寄与

日中緑化交流基金では、中国の植林活動を支援するため、中国側窓口である中国国家林業局対外協力プロジェクトセンターの協力を得て、平成十二年から日本の民間団体が中国側カウンターパートと協力して行なう植林緑化事業に対する助成を行なっている。

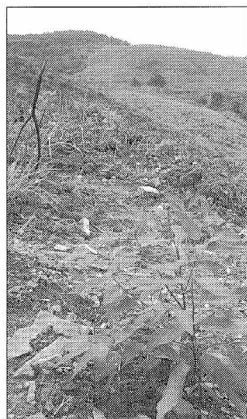
日中両国民によるこれらの植林緑化活動は、中国国内の緑の山河づくりに貢献すると共に、これらの活動を通じて、地球規模での環境保全にも役立っている。また、日中両国の友好関係の発展に寄与することが期待されている。

日本友愛青年協会は、事業発足以来この事業に協力、中国側との信頼関係を築いている。昨年に引き続き第十回目となる本年も訪中団が出発、大きな成果を得て帰国した。

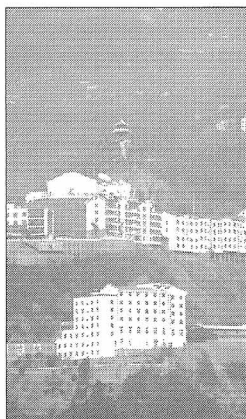
十回目の訪中

友愛植林訪中団一行十四名は二月二日(金)に成田を出発、北京経由で湖北省宜昌市へ向かった。昨年の訪中に引き続き、長江三峡ダム開発に伴う周

辺の植林を実施。その後荆州経由で武漢に向かう。荆州では、荆州青年連合会主席主催の昼食会に招待され、地元テレビ局のインタビューを受けるなど、交流の機会が多かった。



広西チワン族自治区の植林地現場
見晴らす限り背丈の高い樹木はない。手前は植樹したユーカリの苗



長江より植林地を望む(シ帰県)
歴史的建造物と経済発展の象徴的ホテルが見える。山肌は土が露出

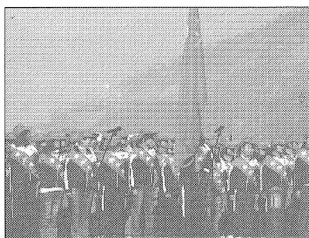
◆湖北省宜昌市二期植林事業

中国一大プロジェクト三峡ダム周辺での植林
シ帰県は湖北省南西部の宜昌市内に位置し、長江三峡とよばれる三つの峡谷(西陵峡、巫峡、瞿塘峡)にはさまれている。長江は世界で第三番目の大河であ

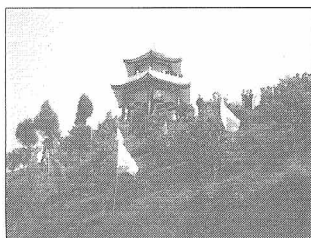
友愛一行と子供達の共同作業。緑の葉は太陽を受けて輝く



地元の子供達は整列して式典に参加。後ろの赤い山が緑の山になる



歴史的建造物も多い地域。山は緑が無く、地滑りも懸念されている

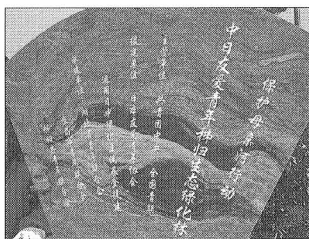


る。中国では大河は「龍」にたとえられ、黄河の「あばれ龍」に対し、長江は「昇り龍」と呼ばれている。長江は氾濫の歴史を繰り返している。近年では一九九八年に、「百年に一度」規模の大洪水が発生した。

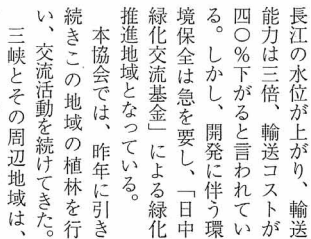
名産の銘石で創られた石碑を囲んで。一行からも拍手が



七色の輝きをもつ銘石に「日本友愛青年協会」の名が刻まれた



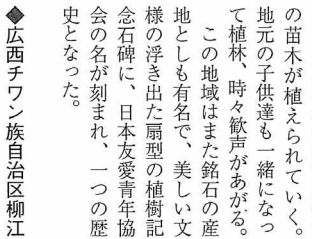
三峽ダムは、完成すると長江の水位が上がり、輸送能力は三倍、輸送コストが四〇%下がると言われている。しかし、開発に伴う環境保全は急を要し、「日中緑化交流基金」による緑化推進地域となっている。



本協会では、昨年に引き続きこの地域の植林を行い、交流活動が続けられた。三峽とその周辺地域は、遺跡や史跡が多く残る文化的にも重要な地域で、「三峽ダム地区の文化遺産を救え」との声も多いが、移転先の確保、資金の確保など問題も多く、ダム完成時点までには二〇%しか救い出せないといわれている。見事な景観を呈する地域

に、本協会一行の手で、二メートルほどの柑橘系樹木の苗木が植えられていく。

地元の子供達も一緒に植樹し、時々歓声が上がる。この地域はまた銘石の産地としても有名で、美しい文様の浮き出た扇型の植樹記念石碑に、日本友愛青年協会の名が刻まれ、一つの歴史となった。



◆広西チワン族自治区柳江植林地
開発新種のユーカリを植樹。環境保全に期待

広西チワン族自治区は中国大陸の南端に位置し、ベトナムと国境を接している。最も美しいカルスト景観・桂林を有し、多くの少数民族人口を抱えるとともに、中国の「歌の神様」とされる劉三姉の故郷としても有名で、独自の高い文化を守り暮らしている。

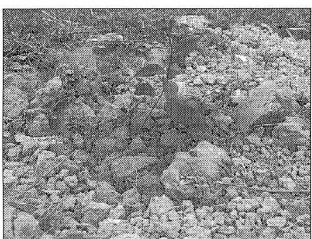
柳州から四十キロ強車で移動、柳江県で地元の小学生、地域の人々が集まり植林の式典が行なわれた。式典で、川手団長は「木を植えてきただけではありません。一緒に植えた皆さんと心を一つにして、命をこめる、願いをこめるそんな気持ちで参りました。木が大きく育つように、皆さんも大きく育ち、友好の絆も育つことを願っています。皆さん、将来に大きな夢を持つてください。大きな夢が世界を小さくします。同行の鶴巻先生は歯学博士です。世界の歯学会の会長をしました。みんなが博士になるという大きな夢を育てましょう」と挨拶、子供達から大きな拍

手がわいた。式典会場の近くには全寮制の中学校があり、その生徒達も参列していた。英語教育に力を入れている学校とのことで、生徒達は友愛一行の日本の学生に一生懸命英語で話しかけ、年齢の

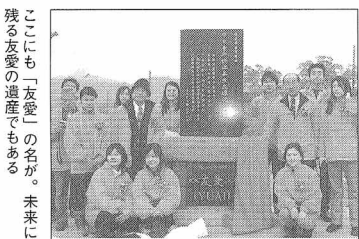
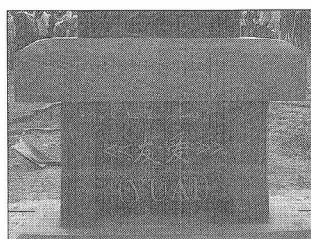
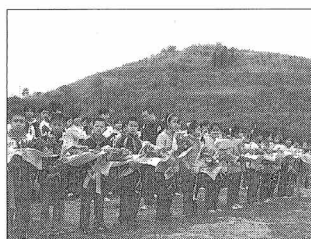
離れた若者同士での、身振り手振り、笑い声を交えての交流が行われた。植林が済んだ後も、生徒達は名残を惜しみ、帰ろうとはしない。最後にはバスが出発するまで見送り、いつまでも手を振っていた。



植林を終えて記念撮影。希望と笑顔が空を吹き飛ばす

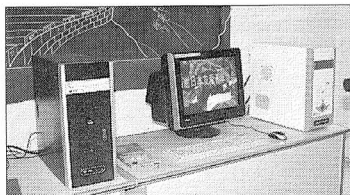


新種のユーカリの苗。小さいが生命力は強い。活発率も抜群



ここにも「友愛」の名が。未来に残る友愛の遺産でもある

一行はその後「友愛図書室」を設立した鹿寨小学校を訪問、子供達の熱烈歓迎を受けた。多彩な日程を終え九日に無事帰国した。



小学校には珍しいパソコンも設置された。世界への窓口となって、子供達の夢を育てる



校長先生から団長へ、基金受領の証が手渡された



整然と書架に収められた本。子供達が読みふける様子が楽しみ

友愛図書室完成

広西チワン族自治区 鹿寨小学校に寄贈

昨年、植林活動のため

訪中した際、日本友愛青年

協会の一行は、植林実施地

の近くにある「広西チワン

族自治区・鹿寨小学校を訪

問、子供達と同行青年達と

の交流を行った。

昨年、再度訪問の折りに

は、本協会の植林活動に對

して感謝の意を、一行代

表を務めた川手正一郎常務

理事に「環境保全基金」の

称号が鹿寨小学校より贈ら

れた。

このような交流を深める

なか、川手正一郎常務理事

が、一昨年中国より贈られ

た「母なる河を守る大賞」

の副賞賞金を、小学校のた

めに使ってほしいと申し入

れたところ、鹿寨小学校よ

り「図書館開設」の要望が

寄せられた。

図書館は「友愛図書室」

と命名し、末永く「友愛」

との友好を次代に伝えたい

とのことで、本協会として

も理事会に諮り、出来るう

限りの協力を約束した。

広西チワン族自治区主席

李澤氏に協力を仰ぎ、川手

氏の副賞賞金に日本友愛青

年協会から寄贈の基金をも

とに、この度「友愛図書室

」が完成の運びとなった。

今回の訪問では、図書室

の棚に、事前に日本から送

った絵本、図鑑、英語の本

などを含め沢山の本が整然

と並んでいるところを視

察、また、友愛からの基金

で購入した、パソコンなど

も設備され、見事な図書室

が出来上がっていた。この

図書室は、今後も充実に向

けて蔵書を増やしていく予

定とのことであった。

学校関係者、子供達も

「熱烈歓迎」で迎えてくれ

た。素晴らしい澄んだ歌声

による「さくらさくら」の

独唱、子供達による中国の

伝統的な踊りの披露など、

肌寒さの感じられる日であ

ったが、それを吹き飛ばす

力溢れた歓迎の会を開催し

てくれた。

日本側からも返礼に、同

行の女子大学生が着物で

「春駒」(岐阜県郡上の盆踊

り)を披露。実際に「日本

の着物」見たのは初めてだ

と、子供達も喜んでくれた。

また、けん玉五段の腕前を

もつ、男子大学生がけん玉

の技を披露、大きな歓声が

あがった。「日本けん玉協

会」から寄せられたけん玉

会を鹿寨小学校に寄贈。

川手正一郎揮毫・自強不息

鶴巻克雄揮毫・一念通天

三月七日 一郎先生祥月命日

早期墓参会に関係者集う

む。人々は三々五々墓参に

訪れ、それぞれの思いを胸

前に、一郎先生、薫先生の墓

前で手を合わせていた。

この早期墓参会は、一郎

先生が亡くなられてから今

日まで行われている。

友愛 ほんだな

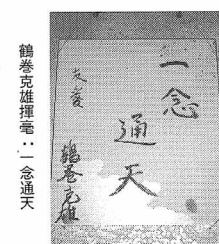
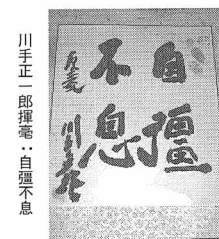
渡部恒三
民主党を救った会津魂
—ならぬことはならぬ—
板垣英憲著

友愛諸氏の良く知るところ「渡部恒三衆議院議員」について書かれた本である。著者は、多年にわたり政治記者として活躍、現在は政治評論家として一〇〇冊以上の著書を発表している板垣英憲氏。あえてテレビの番組宣伝風の表現を借りるならば「渡部恒三：平成の水戸黄門のすべて：飄々たる風貌と会津言葉の奥に潜む政治家魂」とでもなるのだろうか。実に良く渡部氏を観察、分析、表現している。加えて、永年の政治記者としての手腕、人間関係をくまなく発揮しての情報収集が、独特の臨場感を作り上げていて、渡部氏が衆議院副議長当時、上田清司衆議院議員(現埼玉県知事)に語った冗談話として、こんな話が載せられている。「いや、副議長席から、前のほうを見ていると、

小淵恵三の娘とか梶山静六の息子とかいてね、ああおれもそろそろダメかと思つて後ろのほうを見ていると、中曽根康弘がいる、宮澤喜一が死んだようにして眠つてる。うーん、まだまだ読む者の頭の中には、文字としての言葉ではなく、渡部氏の話し言葉と音声とのまがが浮かんでくるのである。表現はもとより、挿入されている逸話の面白さは、著者の真骨頂といえるだろう。『黄門さま』の愛称を自他共に認めるところの渡部氏が、最近報道関係など、事あるごとに披露する「蔡

のご紋の印籠」(現在は民主党のロゴが記された特製を携帯)が、実は「水戸黄門」を放映するTBSから贈られたものであることなど、微笑ましい話題が紹介されている。一方、前民主党政代表前原誠司氏に「起き上がりこぼし」を贈ったことなど、渡部氏の言葉で書かれた出来事、鳩山由紀夫衆議院議員(現民主党政幹事長)とのやり取りと縁など、友愛諸氏には興味のある話題が並ぶ。鳩山一郎先生に傾倒し、「友愛」の精神と実践を心に抱き、今日ま

渡部恒三
民主党を救った
会津魂
—ならぬことはならぬ—
板垣英憲著



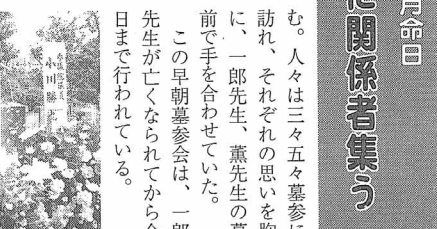
幸い、日が差してくるに
すがすがしい、気温も上昇、陽
ざしの暖かさが各人を包
み込んでいた。



両氏は次のように認め、
子供達に進呈した。
川手正一郎・自強不息…
易経の言葉。天地の健やか
なるがごとく、君子も自ら
努め励み、怠ることはいない。
鶴巻克雄…一念通天…た
だ一筋に思い、努力を続け
ていけば、その誠意が天に
通じて、目標を達成できる。
昨年訪問の折、校舎横
に記念植樹した木が、見事
な成長を遂げており、鹿寨
小学校と日本友愛青年協会
の友好の成長を象徴するか
のようであった。

暖冬といわれていた今年
の冬であったが、この日は
早朝という日もあって肌
寒さが残る。しかし、鳩山
一郎先生に縁をもつ多くの
人々が墓参に訪れ、また、
沢山の供花も寄せられ、鳩
山家の墓所には、俄に春が
訪れたような暖かさがただ
よっていた。

鳩山一郎先生の祥月命日
にあたる三月七日、東京谷
中にある鳩山家の墓所に関
係各位が集い、恒例となっ
た「早期墓参会」が行われ
た。



む。人々は三々五々墓参に
訪れ、それぞれの思いを胸
前に、一郎先生、薫先生の墓
前で手を合わせていた。
この早期墓参会は、一郎
先生が亡くなられてから今
日まで行われている。

平成19年度内閣府青年国際交流事業の 日本参加青年募集!!

内閣府では、日本と世界各国の青年の交流を通して、相互理解と友好を深め、広い国際的視野と国際協調の精神を身につけた次代を担うにふさわしい青年を育成するため、青年国際交流事業を実施しています。青少年育成を目指し活動を行っている日本友愛青年協会は、内閣府の青年国際交流事業に協力するため、ここに募集の概要を掲載し、広く人材を求めるものです。

参加希望のかたは、日本友愛青年協会が推薦いたしますので、事務局までお問い合わせください。4月10日(火)締切です。

なお、内閣府の募集に関しての詳しい内容は、内閣府のホームページをご参照ください。

日本・中国青年親善交流

中国に27人(渉外団員を含む)の日本青年を20日間程度派遣します。

訪問国では、その国の青年たちとお互いの文化の紹介、スポーツ交流等を通じた交流、ホームステイ、産業・文化・教育・社会福祉等各種施設の訪問などを行います。

日本・韓国青年親善交流

韓国に27人(渉外団員を含む)の日本青年を15日間程度派遣します。

訪問国では、その国の青年たちとお互いの文化の紹介、スポーツ交流等を通じた交流、ホームステイ、産業・文化・教育・社会福祉等各種施設の訪問などを行います。

内閣府ホームページ

<http://www.cao.go.jp/koryu/>

世界青年の船

日本青年約120人と外国青年約140人が、40日間程度、船内で共同生活をしながら、インド、オマーンを訪問します。

船内では、英語による各種テーマについてのディスカッションをメインのプログラムとする他、各国事情の紹介、クラブ活動、スポーツ交流等を行います。

訪問国では、その国の青年たちとの交流、各種施設の訪問などを行います。

東南アジア青年の船

日本青年約40人とASEAN10カ国の青年約300人が、50日間程度、船内での共同生活などをしながら、インドネシア、マレーシア、シンガポール、タイ、ベトナムを訪問します。

船内では、英語によるディスカッション、各国事情の紹介、クラブ活動、スポーツ交流などを行います。

訪問国では、その国の青年たちとの交流、ホームステイ、ボランティア活動、各種施設の訪問などを行います。

国際青年育成交流

バルト三国(エストニア、ラトビア、リトアニア)、カンボジア、ヨルダン、ミャンマー、メキシコの各国(バルト三国の場合は3か国)にそれぞれ12人の日本青年を20日間程度派遣します。

訪問国では、特定の拠点に滞在し、国際協力活動の体験、その国の青年との交流、ホームステイなどを行います。

応募

各都道府県の青少年対策主管課(室)及び全国的な組織を持つ青少年団体で参加申込を受け付けています。応募に当たっては、参加申込書、作文等の提出が必要となります。

(各都道府県の窓口と募集期間(予定)については、ホームページ等でご確認ください)

友愛婦人会だより

新年の集い開催
華やかに和やかに新春の一日

友愛婦人会「新年の集い」
平成十九年一月十日(水)
恒例の友愛婦人会「新年の集い」が東京ドームホテル・シンシアの間に開催されました。
今年は、暖冬で正月とはいえ暖かい日和のなか、百名に近い会員の皆様に参加してくださいました。
鳩山安子会長をはじめ、

友愛婦人会「新年の集い」
平成十九年一月十日(水)
恒例の友愛婦人会「新年の集い」が東京ドームホテル・シンシアの間に開催されました。
今年は、暖冬で正月とはいえ暖かい日和のなか、百名に近い会員の皆様に参加してくださいました。
鳩山安子会長をはじめ、

友愛婦人会「新年の集い」
平成十九年一月十日(水)
恒例の友愛婦人会「新年の集い」が東京ドームホテル・シンシアの間に開催されました。
今年は、暖冬で正月とはいえ暖かい日和のなか、百名に近い会員の皆様に参加してくださいました。
鳩山安子会長をはじめ、

友愛婦人会「新年の集い」
平成十九年一月十日(水)
恒例の友愛婦人会「新年の集い」が東京ドームホテル・シンシアの間に開催されました。
今年は、暖冬で正月とはいえ暖かい日和のなか、百名に近い会員の皆様に参加してくださいました。
鳩山安子会長をはじめ、

皆様お元気で、お顔合わせできますことはこの上なく嬉しいことだと思います。
種田英子副会長の開会の辞で新年会は始まりました。
鳩山安子会長から「皆様お揃いで、新しい年を迎えられました」と優しいご挨拶がありました。煙山文京区長が、成田山への初詣から駆けつけてくださいました。文京区の現況をご説明くださいました。

友愛婦人会「新年の集い」
平成十九年一月十日(水)
恒例の友愛婦人会「新年の集い」が東京ドームホテル・シンシアの間に開催されました。
今年は、暖冬で正月とはいえ暖かい日和のなか、百名に近い会員の皆様に参加してくださいました。
鳩山安子会長をはじめ、

友愛婦人会「新年の集い」
平成十九年一月十日(水)
恒例の友愛婦人会「新年の集い」が東京ドームホテル・シンシアの間に開催されました。
今年は、暖冬で正月とはいえ暖かい日和のなか、百名に近い会員の皆様に参加してくださいました。
鳩山安子会長をはじめ、

軽井沢友愛山荘四月一日より営業開始

新規バンフレット完成

冬季休業いたしましたおりました軽井沢友愛山荘は、四月一日よりオープンいたします。

友愛山荘概要
お一人様からご家族、グループなど団体でのご利用も可能です。また、会議室などの設備も備えておりますので、研修施設としてもご利用いただけます。テニスコート(バレーコート兼用・一面・全天候型)、自転車、バトミントンセットなどもご利用いただけます。楽しい旅行をご計画ください。

友愛山荘概要
お一人様からご家族、グループなど団体でのご利用も可能です。また、会議室などの設備も備えておりますので、研修施設としてもご利用いただけます。テニスコート(バレーコート兼用・一面・全天候型)、自転車、バトミントンセットなどもご利用いただけます。楽しい旅行をご計画ください。

友愛山荘概要
お一人様からご家族、グループなど団体でのご利用も可能です。また、会議室などの設備も備えておりますので、研修施設としてもご利用いただけます。テニスコート(バレーコート兼用・一面・全天候型)、自転車、バトミントンセットなどもご利用いただけます。楽しい旅行をご計画ください。

友愛山荘概要
お一人様からご家族、グループなど団体でのご利用も可能です。また、会議室などの設備も備えておりますので、研修施設としてもご利用いただけます。テニスコート(バレーコート兼用・一面・全天候型)、自転車、バトミントンセットなどもご利用いただけます。楽しい旅行をご計画ください。

友愛山荘概要
お一人様からご家族、グループなど団体でのご利用も可能です。また、会議室などの設備も備えておりますので、研修施設としてもご利用いただけます。テニスコート(バレーコート兼用・一面・全天候型)、自転車、バトミントンセットなどもご利用いただけます。楽しい旅行をご計画ください。

友愛山荘概要
お一人様からご家族、グループなど団体でのご利用も可能です。また、会議室などの設備も備えておりますので、研修施設としてもご利用いただけます。テニスコート(バレーコート兼用・一面・全天候型)、自転車、バトミントンセットなどもご利用いただけます。楽しい旅行をご計画ください。

友愛山荘概要
お一人様からご家族、グループなど団体でのご利用も可能です。また、会議室などの設備も備えておりますので、研修施設としてもご利用いただけます。テニスコート(バレーコート兼用・一面・全天候型)、自転車、バトミントンセットなどもご利用いただけます。楽しい旅行をご計画ください。



友愛山荘

友愛山荘

<http://www.yuiyouth.or.jp/>